

CJM REPORTER

カナディアン ジャパニーズ ミニストリー (CJM) 2016年秋号



1946年に創設されたCJMは、今年で70周年を迎えます。それに際し、2016年6月25日にCJM創設

70周年記念祝賀会がもたれました。

アルバータ州のカルガリーで行われ、96人の参加者のもと、賛美、再会の喜びを味わう時、70年の歩みを振り返る時、将来への展望を語り合う時などが持たれました。

この祝賀会は「イエス・キリストは、昨日も今日もいつまでも同じです。(ヘブル13章8節)」をテーマとし、CJMの先駆者たちを覚え、敬意を示すことに焦点が当てられたものとなりました。32人のCJM先駆者の方々の名前があげられ、その中の11名は、本人または家族が代理で感謝状を受け取りました。

感謝状を受け取った中の5人により証もなされました。祝賀会では、アルバータ州バンフの、グレース・ジャパニーズ・クリスチャン・チャーチと、カルガリー、クロスオーバー日本人教会が、特別賛美をして下さり参加者を魅了しました。またグレース・ポイント・フェローシップ(カルガリー日系人福音教会・英語部)が会衆賛美を導いてくれました。

また、私たちはマーク・マクレード氏を会に迎える光栄にあずかりました。マクレード氏はビリーグラハム災害対応チームのカナダのチャプレンとして奉仕され、現在はサマリタン・パースで奉仕されています。彼はフォートマクマレーから、この会に参加するために来てくださり、東北大震災の発生後CJMが迅速に動き、彼をクラッシュジャパンと共に働くために送り出すことに協力したことに対し感謝を述べました。*



ケビン・ウエタ牧師

CJM理事会の若きメンバーであるケビン・ウエタ牧師が「CJMのこれから」について語り、聞く人々の心を奮い立たせました。以下は、ケビン牧師のCJM70周年記念祝賀会でのメッセージを要約したものです。

CJMの先駆者たちのすばらしい証は、神様がいかにかこの70年間CJMを導き続けてくださったかあらためて感じさせるものでした。哀歌3章22節から24節で、エレミヤは悲しみの真ただ中におかれながらも主を信頼に値する方だと大胆にほめたたえました。それと同じように、CJMのこれからについて考えるとき、私たちはこれまでそうであったように、神様がこれからもCJMの歩みを導き続けてくださることを確信し、より多くの人に届いていくため、忍耐強く福音を述べ伝える歩み続けていくように召して下さっていると感じます。

最近の統計を見ていると、カナダにおける日本人ディアスポラが増え続ける傾向にあることが分かり、日本人に対するミニストリーの機会がますます開かれてきているように感じます。そして、それらの日本人に届いていくためには、他の教会や組織と協力し、日系人教会の枠にとどまらず地域教会と一丸となって、共に主にあつて力を合わせていく必要があるのです。

私たちが聖霊の働きと導きにゆだねていこうとする時、これらの積極的宣教の機会を無視して進むわけにはいきません。これらの与えられた機会に忠実であろうとする時、1つの教会の力、また一人の宣教師の努力では到底なしえることができません。私たちがお互いに、助け、訓練し、励まし合い、協力して働けるように助けていく、そのような存在として、CJMはそのあるのだと思います。*

The CJM REPORTER is published semi-annually by the Canadian Japanese Ministries. News items, reports, testimonies and notices of events are welcomed by the editors. Next publication, April 15, 2017. Published in Toronto, ON

CO-EDITORS:

Nori Kanashiro 56 Wakefield Cres., Toronto, ON M1W 2C2 Tel: 416-321-5831 Email: nbkan11@gmail.com

Rev. Edward Yoshida 3650 Kingston Rd. PH-09, Toronto, ON M4C 2C4 Tel: 416-261-4302 Email: esyoshida@sympatico.ca

JAPANESE TRANSLATION: Yumi Ijichi, Minako Ebisuzaki, Marie Fuki, Miki Nakano

YOUTH IN ACTION Editor: Marie Fuki Email: marie.fuki@yahoo.com;

CJM Website: www.CJMin.com

SUNNYSIDE CAMP 2016

キャンプ委員会委員長 デビッド・タノ

アルバータの厳しい時代の中にさす陽の光

私は毎年、みなさんに最新情報をアップデートする特権にあずかっています。

アルバータは難しい時期にきていますが、それにもかかわらず神様はその光を輝かせる場としてサニーサイドを用い続けてくださっています。今年は最大規模のキャンプとなりました。パートタイムの参加者を含めて270名以上の参加がありました。

ここ数年、神様が多くの若者の出発地点としてキャンプを用いてくださっているということがハイライトの一つとなっています。彼らは洗礼を通して、主に対する忠誠と愛を公に表しています。今年も例外ではなく、7名の受洗に立ち会うことができたことを光栄に思います。実際の洗礼に加えて、彼らの話や確信、苦闘などを聞いてとても祝福されました。今年の受洗者は、マシュー・コモリ、ビアンク・コリン、レイチェル・ウッド、ジュリア・ツイガン、ジョーイ・タダ、リチャード&ミヤコ・ユサ夫妻です。みなさん、おめでとうございます！とても嬉しいです。

英語のスピーカーには、再びマシュー・ムーア師が来てくださり、若者たちとまたつながりを持つことができたことはすばらしいことでした。カリフォルニアのイルバインから来てくださった日本語の牧師、つかさ（スコット）スギモト師は、日本人参加者を知恵と導きとカウンセリングで満たしてくださいました。ともにとても好評でした。そして、また見たいという人々のために、トム“マイケル・ジャクソン”ホリウチが新しいダンスパートナーの“スライディン”スギと共に再演してくださいました。

リーダーシップをとってくださったロバート・ハセガワとロブソン・シュクダのおかげでまた今年も素晴らしいキャンプになったことを感謝します。神様を賛美します！サニーサイドキャンプ2016を成功させるために時間をさき、ご尽力いただいた多くのボランティアの方々に心から感謝します。まだサニーサイドキャンプを経験したことのない方は、2017年7月30日から8月5日のキャンプにぜひ来てください。*



サニーサイドキャンプ（日本語参加者）

北東日系 クリスチャン 修養会 2016

今年は北東日系クリスチャン修養会が始まって第30回となりました。参加者も会場も変わってきましたが、主がここまでお導きくださり心から主に感謝します。

会場は昨年と同じスカボローミッションというカトリックの建物を借りて、4月29日（金）夜から30日（土）夜にかけて行われました。2日間で延べ約100名（その他子どもたち3名）の方々が参加されました。

今回の講師は、バンクーバー日系人福音教会の福迫徹也師で、「神を求めて生きる」というテーマで、先生の証を交え、また具体的な例を挙げて4回のセッションで分かりやすくお話をしてくださいました。

第1回「神さま助けて」（詩篇91：1）では、全知全能、偏在しておられる神にいつも助けを呼び求めることの大切さを、第2回「神さまごめんなさい」（創世記3：8-13）では、夫婦間、友人間の問題は全て罪から派生しているの、その罪を自己弁護したり、責任転嫁することなく、自分の罪を認め、神に謝ることの大切さを、第3回「神さまありがとう」（Iテサロニケ5：16-18）では、このみ言葉はクリスチャン生活の根本のみ言葉であり、どんな状況の中にあっても感謝することを見つめることができるので、それを見つめることの大切さを学び、第4回「何のために生きるのか」（Iコリント10：31-33）では、毎日の生活の中で神の栄光を現し、神を喜ぶことの大切さを教えていただきました。

今年も各集会の初めの賛美を、トロントにある4つの教会/集会が担当しました。

修養会委員として長年ご奉仕をしてくださった岩井曜子姉が、3年前から患っておられた病の調子が修養会直前に悪くなり、5月18日に天に凱旋されました。

今年も借りた会場は、建て替えのために来年からは借りることができなくなりました。また新しい場所を探さなければなりません。新しい場所が与えられるようにお祈りくださると感謝です。*



2016年修養会参加者

エドモントン日系キリスト教会

9802 - 76th Ave. NW, Edmonton, AB T6E 1K5
 (Zion Baptist Community Church にて)
 日曜礼拝: 午後2時より(バイリンガル)
 牧師: 田村寿宏 電話: 587-986-8161
 Eメール: tamuratoshihiro1981@gmail.com
 教会HP: www.ejcc.ca



田村寿宏 牧師、ひろみ夫人
ひなたちゃん

田村寿宏牧師

主にある兄弟姉妹の皆様へ、主の豊かな恵みと祝福をお祈り申し上げます。今年の夏は主の恵みと祝福あふれる時となりました。昨年のサニーサイドキャンプで、暗唱聖句の賞を取られた

吉美姉は、その後も主と共に忠実に歩み、6月末に受洗されました。子供の頃から教会で育ち、ずっと仕えてくださっていたジョイス姉は7月中旬に望兄(ジョニー)とご結婚されました。また結婚式の翌日には、安和姉、真与姉の洗礼式が執り行われました。彼女たちもまた教会で育った姉妹ですが、忘れられない、素晴らしい証をシェアしてくださいました。最後にティム兄と智子姉の婚約式が7月の終わりに行われました。実は今、彼らのほとんどはエドモントンには住んでいません。それぞれが就職や進学、またミニストリーのために新たな地へと旅立っていきました。彼らに会えないことはとても寂しいですが、同時に彼らをキリストの地の塩、世の光として世界にお送り出すことができたことは感謝すべき恵だと思っています。引き続き、新しい土地で新たな人生を主と共に歩み始めた彼らのことを、祈りに覚えて頂けたら幸いです。*

グレース日系クリスチャン教会

407 Cougar Street, Banff, AB
 (Banff Full Gospel Churchにて)
 日曜礼拝: 午前9時より
 牧師: 榎実
 Eメール: banffgjcc.enoki@gmail.com



榎実牧師、いずみ夫人
ゆいちゃん

榎実牧師

素晴らしい主の御名を心から賛美し讃えます。9月11日に第二回目のArise Night(教団、教派を越えた合同礼拝と交わり)がここキャンモアの地で行なわれました。カルガリーからも堀内先生、谷口先生を始め沢山の兄弟姉妹が礼拝に参加してくださいキリストにあつて諸教会が一つに結び合わさる姿に大きな感動

を覚えました。このArise Nightにおいては新しい世代のリーダーの育成と成熟をビジョンとして掲げ、一人一人が文字通り”Arise”される姿を見る中で私たち夫婦がこの地に遣われた当初から祈りに覚えていた”諸教会の霊的な一致と働きにおける神の国の前進”、が主の不思議な計らいと方策により導かれ、建て上げられている現実を見させて頂いています。形だけの一致でなく、霊的、信仰的な面においても諸教会が共に結び合わさるところにキリストの栄光が現されると信じ今この働きが前進しています。聖書において”教会を建てなさい”、とは一度も命じられていません。むしろ主イエス・キリストご自身がマタイ16章18節で、私が岩の上に、私の教会を建てる、と語っておられます。私たちは建て上げる者ではなく、建て上げられる者であり、牧者においては主のビジョンにどこまでも自らの歩みを照らし合わせることであり、そこから生み出される実こそ本当の意味で私たちを満ち足らせるものであると信じています。*

クロスオーバー日本人教会

1313 Ranchlands Way NW, Calgary, AB
 (Westview Baptist Church にて)
 日曜礼拝: 午後2時より
 牧師: 谷口洋一 電話: 403-455-0074
 Eメール: ymtaniguchi@hotmail.com
www.crossoverjapanesechurch.com



谷口みゆき

2016年夏頃より、教会の礼拝に、留学生たちがたくさん集ってくれるようになってきました。カルガリーには、フォーカスというクリスチャンの団体があります。留学生をサポートする働きで、毎週金曜日の夜、食事を提供し、聖書の学びをやっていきます。私たちの教会の中にも何人か、その働きに関わっている青年たちがいます。彼らがフォーカスに出席している留学生たちを、私たちの教会の礼拝に連れてきてきています。彼らのほとんど

は日本語を話しません。この変化は私たちに大きなチャレンジを与えました。日本語中心の礼拝からバイリンガル礼拝に変えていかざるを得ない状況になってきました。幸いにも、最近、神学校で牧師課程の学びをしている青年が、英語部のグループを助けてくださることになりました。これから、彼のリーダーシップのもとで、アルファコースの学びを始める予定です。また、日本語を話さない出席者からの要望で、月に1回の割合で、ジョイント礼拝を始めました。神様は、そのために通訳者も与えてくださり、ジョイント礼拝を始めるようになって、国際結婚をしているカップルも礼拝に出席して下さるようになってきました。夫婦で一つの礼拝に出席できることはなんと幸いなことでしょうか。これらの神様のお導きに心からの感謝をささげています。*

ビクトリア日系人教会

877 North Park St., Victoria, BC
(First Baptist Church にて)
日曜礼拝：午後1時30分より
Eメール：ksteyr@telus.net (Kaori St. Cyr)



石黒豊牧師

2016年8月よりビクトリア日系人教会に牧師として就任致しました石黒 豊と申します。教会に集われている方々と共に素晴らしいイエス様を伝えて行きたいと願っています。教会に集う私達もよりいっそう神様から愛され、たがいに愛し合い、魅力ある教会でありたいと皆で祈っています。定例集会としては毎週火曜日にもたれます祈禱会、聖書から励まし力を頂いてみなで祈りの時をもっています。

9月から新たに1人の姉妹も加えられ感謝しています。また婦人の方々の集い（サフランの会）も多くの方々も出席して下さり、楽しい充実したときを持っています。この8月からはメンズグループの会もスタートし男性同士でも充実した学びの時を持っています。またこの10月には2人の方がバプテスマを受けられます。

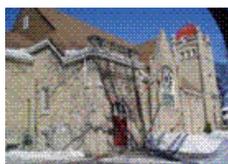


石黒豊先生ご夫妻

洗礼準備学びの時もスタート致しました。これからは是非ビクトリア日系人教会を覚え、祈りに加えて頂ければ感謝です。*

ウィニペグ日系アライアンス教会

549 Gertrude Ave. W., Winnipeg, MB R2L 0M9
(Trinity Baptist Church にて)
日曜礼拝：午後2時より
faith43@shaw.ca (Bruce Yarrow - Leader)
www.wjac.weebly.com



小笠原都子

今年の6月7月に2組の家族がそれぞれアルバータ州とオンタリオ州に引っ越しをし、教会に集まる人数はさらに少なくなりました。少々寂しい夏の幕開けとなりましたが、新たに日本からいらした綾子さん、季一郎さんみりさん夫妻が教会に続けて来てくれるようになり、教会は再び明るさを取り戻しつつあります。

7月はウィニペグから車で南に1時間程の場所にある、St.Malo州立公園にピクニックに行き、水遊びやカヌーを楽しんできました。8月には市内にあるキルドナンパークで

ピクニックを行い、皆でワーシップソングを歌ったり、ゲームなどを行いました。8月の終わりには教会に通う数家族がヘクラ島へキャンプに行きました。

シニアの皆さんも元気に教会に通っていらっやいます。6月には申八重子姉の娘さんご夫妻が韓国より訪問して下さり、ご主人のオカリナ伴奏による、娘さんの素晴らしい賛美の歌声を聞かせていただきました。ジューン・バックカー姉は礼拝後のコーヒータイムのためのご奉仕を続けてくださっています。松原米子姉は新しく教会にいらした方のためにもいつも気を配ってくださいます。クラウセン信子姉はピアノ奏楽をしてくださいます。

毎週の礼拝のメッセージは引き続きライマー・クラウセン牧師とブルース・ヤロー牧師がその荷を負ってくださっています。また2人の師は礼拝に出席することが難しくなった兄弟姉妹への訪問も欠かさず行ってくださっています。

ウィニペグはこれから長い冬が始まりますが、主にあつて今まで変わらず温かな交わりを持つ集まりでありたいと思っています。*

ウェスリーチャペル日系教会

2385 Warden Ave., Scarborough, ON
(Wesley Chapel にて)
日曜礼拝：午後1時より
牧師：初瀬川宗敏 電話：647-347-3167
Eメール：mmh1123@hotmail.com
教会HP：www.wcjc.wordpress.com



初瀬川 美香

誰の教会でもなく神の教会をめざして
ウェスレー教会では、毎年ビジョンを掲げて礼拝を捧げています。

- ・神の家族の素晴らしさと魅力を味わう(2010)
- ・神の臨在あふれる礼拝者となる(2011)
- ・神のうちに健やかに、愛のうちのしっかりと成長する(2012)
- ・私達の城壁の回復と建て直しを共に経験する(2013)
- ・聖霊と共に歩み日々生きた神様を体験する(2014&2015)

ある方が「教会は神様に会いに来る所です。」とおっしゃいました。その通りです。お一人お一人が神様に目を向けて礼拝を捧げることを大切にしてきました。礼拝後の小グループではリーダーをさせていただき、メッセージの応答の交わりをもちました。みなさんがどのようにメッセージにチャレンジを受けたかを聞くのが楽しみでした。メッセージがいかにも私達の信仰生活に影響を与えているかを思われメッセンジャーのために祈ることの大切さも改めて知りました。今年も「さらにすぐれた故郷、天の故郷にあこがれる」というビジョンで毎週集っています。

私達夫婦のウェスレー教会での働きは来年春で終わりますが、これからもウェスレー教会が益々、神の教会として成長していくことを願っています。今までみなさんのお祈りと交わりをこの場をお借りして感謝します。*

グレーストロント日本語教会

20 Glebe Road East, Toronto ON, M4S 1N6
 日曜礼拝: 午後1時30分より
 村井優人牧師 416-789-1902
masmurai@gmail.com
 Website: www.gtjc.ca



村井優人牧師

20周年記念礼拝が、この6月5日、無事終了しました。20年前、この者はアメリカ長老教会(PCA)の按手を受け、その後のPCAの交わりと、2001年以来のアンテオケ宣教会の皆さまの支えがあって、今に至ることができました。ゲストはアンテオケ宣教会から、札幌キリスト福音館主任牧師の三橋恵理哉先生(メッセージ)、

ゴスペルベンチャーインターナショナル教会の織田恭博先生(ミュージック)でした。それぞれ、主にあるご奉仕を豊かになさってください、感謝でした。さらに感謝だったことは、教会定着者が増えてきたことです。この方々ゆえ、主なる神さまに感謝です。現在の祈りは、5年後くらいには、主によって後継者が与えられ、当教会の歩みがしっかりなされることです。最後に、皆さまの上に豊かな主の守りをお祈り申し上げます。ハレルヤ! *



村井先生ご夫妻

トロント日系福音教会

301 Silver Star Blvd., Scarborough, ON M1V 0B6
 教会電話: 416-335-5428
 日曜礼拝: 午前11時より(日英両語)
 佐藤明男牧師(日本語) 416-495-1534
 ケビン・ウエタ牧師(英語) 647-298-6422
 Website: www.jgct.com



佐藤明男牧師

日語部ではメンバーの方からこんなミニストリーをしたいと提案がよくあります。牧師が必要と思えば(今までに却下したものはない)役員会にかけ、提案した人にミニストリーを導いてもらっています。今年も「アートとクラフトの会」というミニストリーが、6月から新たに始まりました。日英双方から5~8名の方が、月に2回教会に集まって楽しく活動しています。

12年前から始まったスモールグループは、今年またひとつ増えて、現在は7つのグループが活動しています。

2年前位から、日本からの若者たちの礼拝出席者が増えてきて、一時は20名以上を超えました。

この夏前から帰国ラッシュが始まり、若者たちが少なくなつて寂しくなりました。しかし、このことも主の御手の中にあります。主がまた新たな波を起こしてくださいと信じます。

今年は、今までに日語部からは3名の方(20代、40代の姉妹と70代の兄弟)とキャンプで9歳の男の子が受洗されました。その証を聞いて、神の導かれる方法は一人一人違うということ、そして、その方法はパーフェクトであるということ再認識させられ、主の御名を崇めます。

教会は、川の流れのように流動的です。その時その時に、主が遣わされる人たちに対するミニストリーを、重荷を持っている人たちと共に行っていくことが大切だと感じています。

「私たちは神の作品であつて、良い行いをするためにキリスト・イエスにあつて造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」

(エペソ2:10、新改訳) *

カルガリー日系人福音教会

2203-15A St. S.E., Calgary, AB
 日曜礼拝: 午前10時30分より
 牧師: 堀内友幸(日語)
 電話: 587-434-1783
 教会HP: www.calgarygospel.com



堀内友幸牧師

神のことばは生きていて力がある。

ヘブル人への手紙4:12

主の聖名を賛美します。今年CJM70周年のAGMをカルガリー日系人福音教会で主催することが出来、CJMの初期の開拓者の信仰を私達が継承している素晴らしさを再確認することが出来たことを心から感謝申し上げます。

今年の8月には石黒豊先生、美保子姉ご夫妻をビクトリア日系人教会の主任牧師夫妻としてカルガリー日系人福音教会より祝福して送り出すことが出来たことを心から感謝しています。

9月23日(金)-25日(日)まで日系人Weekend Retreatを中野雄一郎先生・めい子先生ご夫妻をお迎えして「勝利の出發」のテーマの元に一同がチャレンジを受け、神を愛する者のために全てのことを良きにしたもう神を信じて新しい一歩を踏み出すことができたことを確信し、主の聖名を崇めています。*



堀内先生ご夫妻